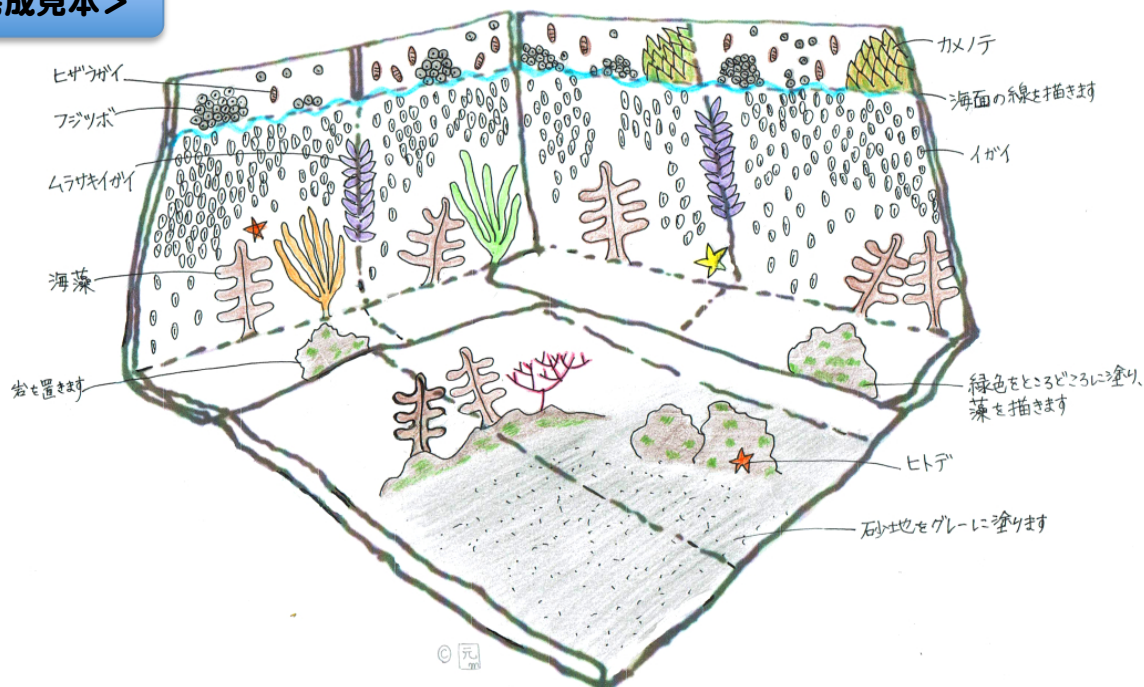




# お魚のごはんは何だ！？

## 【段ボール漁港の作り方】

### <完成見本>

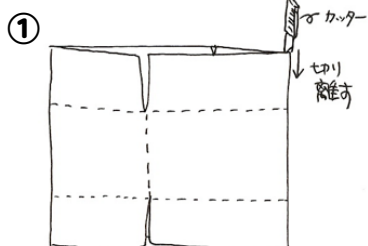


簡単に手に入る「段ボール」を使って、釣り場としてよく利用される「漁港」の一角をつくりま  
す。教材「お魚のごはんは何だ？」の、餌や魚などの生息場所や食物連鎖の学習に用います。

### ■必要な材料：

- ・ 段ボール 2 枚
- ※目安：宅配便 160 サイズ（長さ 610mm×幅 410mm×深さ 514mm）の定番段ボール箱
- ・ クレヨン・サインペン
- ・ 折り紙・模造紙
- ・ ガムテープ・両面テープ（太目）
- ・ カッター・はさみ
- ※「段ボール漁港」に描き込む生物の絵は、指導者資料をご参照ください。

### ◎作り方

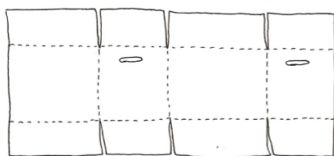


1) できるだけ大き目なダンボール箱を 2 個用意します（同サイズが好ましい）。

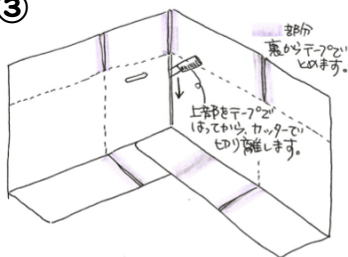
2) 側面の一か所をカッターなどで切り離し、一枚の長方形の平面にします。



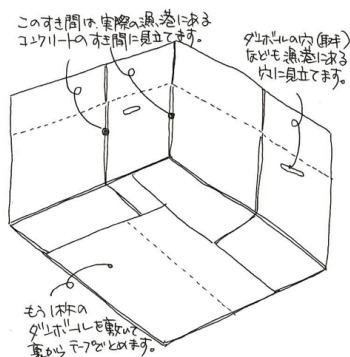
②



③



④



## ◎完成イメージ



3) 真ん中で 90°になるように折って立て、下側で底面の端部分をつくります。

4) 底面の端部分に、もう一枚の段ボールを貼り合わせ、底面を広くします。

これで、漁港の一角に見立てた「段ボール漁港」の基礎ができあがります。

折り目部分をあえて切ってすき間をつくっておくと、より実際の釣り場に近い状況になります。

5) クレヨンなどで海中の様子を描いていきます。左の「完成見本図」を参考に上から 3〜4 分の 1 ぐらいのところに水面を描きます。また、海藻や、付着生物（カメノテやフジツボ、ヒザラガイ、イガイ類等）などを描き込んでいきます。底には、砂地を描いておきましょう。絵を描くときには、インターネットで実物の形や色を調べて参考にしてください。

6) 生物の隠れ場所となる岩場を、紙を丸めてつくり、底に貼っておきます。岩は全体を茶色やグレーに塗ったあと、ところどころ緑色で藻などを描くと海の雰囲気が出てきます。

7) 段ボールに穴やすき間がある場合は、実際の漁港の穴や継ぎ目などに見立て上手に利用しましょう。そのような場所を、生きものは隠れ家としていることが多いものです。

8) 「段ボール漁港」のできあがり！

「段ボール漁港」は事前に作成しておいてもいいですが、時間があるときは参加者と一緒につくるとおもしろいです。

\*この「教材」は、魚の生態や食物連鎖に興味をもってもらうことを目的につくっています。生物の生息場所や形にあまりこだわらず、楽しく作成をしてください。